No.	史蹟名	住所	内容	参考文献等
1	渡船場クッタリ渡し跡	東２線北１８番地	・明治23年頃、移住民の入植が増えるにつれて渡舟の必要が生じ、開拓者の江川伝蔵、吉川鉄之助両氏が同時期に営業を開始した。 ・「ｸｯﾀﾘ渡し」は、長沼と栗沢を結ぶため夕張川に設けられ、経営者の船頭の名を取って別名「江川渡し」「木村渡し」とも呼ばれた。 ・「ｸｯﾀﾘ」とはｱｲﾇ語で「ｲﾀﾄﾞﾘの茎が群生する所」という意味。 ・第1回樋口一葉賞を受賞した辻村もと子の長編小説『馬追原野』の舞台にもなっている。	長沼町90年史 長沼町農民史 史跡標(平成7年度)
2	吉川鉄之助入植の地	東１線北１８番地	明治20年、第1鍬者の吉川鉄之助・渡辺伝二両氏は、千歳、三川、由仁を経由して馬追原野の夕張川畔に入り、吉川は東1線北18番地に、渡辺は東4線北17番地に入植。	長沼町の歴史 長沼町90年史 史跡標(平成4年度)
3	夕張川切替え跡	西４線北１７番地	・昭和11年、開拓以来氾濫を続け、農民たちを悩ませていた夕張川を「新夕張川」に切り替えた際の跡。 ・大正9年に着工し、17年の歳月と総工費1,160万円を要した。 ・この工事完成以降、夕張川の氾濫はほとんど皆無となった。	長沼町の歴史 3区史 長沼町90年史 史跡標(平成10年度)
4	栗山渡船場跡・旧馬追橋跡	東６線北１７番地	・明治23年、吉川鉄之助氏が渡し守としてｱｲﾇの住民を雇い、渡船を始めた。 ・船頭の名から「ﾄﾏﾝﾘｭｳ渡し」とも呼ばれた。 ・明治34年、最初の馬追橋が架けられたが、洪水のたびに流され、その都度渡船が利用された。 ・昭和9年、鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ製の橋脚に替えられた。	長沼町の歴史 長沼町90年史 長沼町第1区部落史 絵物語「ながぬまの橋」 議会だより18号 史跡標(平成7年度)

No.	史蹟名	住所	内容	参考文献等
5	今上陛下（昭和天皇）行幸記念灯篭	東６線北１７番地	明治11年、1区八幡神社境内に、今上陛下（昭和天皇）行幸記念として石灯篭1対を奉納。	長沼町農民史
	馬頭観世音(ﾊﾞﾄｳｶﾝｾﾞｵﾝ)	同上	大正15年、1区八幡神社境内に、色々な病を除いたり天変地異を防いだり、畜産道の救済や不幸にして死んだ愛馬や牛などの冥福を祈るために建立。	長沼町農民史 長沼町第1区部落史
6	旧長沼小学校「追憶」碑	東３線北１７番地	・明治28年12月、長沼町最初の公立小学校として開校し、昭和43年4月に北長沼小学校が統合新設されるまで76年の歴史を有した。 ・吉川鉄之助氏をはじめとする最初の開拓者が入植した地区。 ・現在は「発祥公園」として「追憶碑」や「吉川鉄之助の碑」、「二ノ宮金次郎像」などがある。	長沼町90年史 長沼町農民史 空知文化財ｼﾘｰｽﾞ第8集
	カラマツ記念保護樹木 (北海道指定)	東３線北１７番地	大正11年、当時摂政宮殿下(ｾｯｼｮｳﾉﾐﾔﾃﾞﾝｶ)であった昭和天皇が来道した折のもので、3本が北海道記念保護樹に指定。	長沼町農民史
	佐々木兵藏記念碑	同上	大正14年、校地寄付者である佐々木兵藏の篤志を讃え、記念碑を建立。	長沼町農民史
	吉川鐵之助の碑	同上	・昭和11年、役場前に建立、胸像が戦時中の金属召集に応じ台座だけが残る。 ・昭和41年、胸像が復元され、昭和50年に「発祥公園」に移された。	長沼町90年史 長沼町農民史
	長沼公立小学校発祥之碑 「学びや」	東３線北１７番地	平成9年建立。	長沼町90年史 長沼町農民史 北小開校30周年記念史

No.	史蹟名	住所	内容	参考文献等
7	タンネトー記念碑	西１線北１５番地	・村名発祥の地。 ・当時「平田牧場」内に細長い沼があったことが由来。 ・松浦武四郎の「夕張日誌」に「ﾀﾝﾈﾄｰあり、巾6,7丁（＝6～700m）、長さ1里（＝4,000m）余」の記載あり	長沼町の歴史 長沼町90年史 タンネトー記念碑の栞 長沼町第3区百年史
8	道立中央農試記念館	東６線北１５番地	昭和42年、琴似に建設された試験場本館を長沼に移転復元したもの。	長沼町90年史 長沼町農民史
	安孫子孝次翁像	同上	安孫子孝次は、昭和2年から13年間にわたって北海道農事試験場長を勤め、「安孫子賞」のもとになった人物。	長沼町90年史 長沼町農民史 長沼町第1区部落史
9	北長沼駅跡	東１線北１５番地	・昭和49年、夕張鉄道が開通させたこの路線は50年近い歴史を閉じた。 ・当時走っていたSLは町が購入してｺﾐｭﾆﾃｨ公園に設置、一般展示公開されている。	長沼町の歴史 長沼町90年史 史跡標(平成4年度)
10	北中開校五十周年記念「再会の刻」	東２線北１５番地	平成9年、北長沼中学校開校50周年を記念して建立。	北中記念誌
11	北小開校十周年記念碑	東２線北１５番地	昭和51年、北小開校10周年を記念して建立。	記念誌(53.8.27)
	ひたむき像	同上	昭和51年、北小開校10周年を記念して建立。	同上 ※撤去
12	吉川鉄之助第一歩之地碑	東６線北１５番地	・昭和61年10月建立。 ・明治19年1、吉川鉄之助が馬追原野視察の際に第一歩を印した地。	(なし)

No.	史蹟名	住所	内容	参考文献等
	学び舎を偲ぶ碑	同上	明治40年8月に長沼教育所として開設、大正7年に上長沼小学校と改称し、大正11年3月に学校統合第1号として閉校した。	同上
13	馬匹（ﾊﾞﾋﾂ）供養の碑	西１線北１５番地	・大正10年、開墾耕作に農家のために働き、老衰又は病気で倒れた馬の霊を供養するため建立。 ・毎年3月18日に供養祭を実施。	長沼町第3区百年史 ※撤去
14	野呂栄太郎出生の地	西５線北１３番地	野呂栄太郎は明治23年、開拓者の長男として生まれ、ﾏﾙｸｽ主義経済学者として思想統制下で獄死。	長沼町90年史 慟哭の地平 長沼町第7区郷土史 史跡標(平成4年度)
15	旧第一小学校「回想」碑	西１線北１３番地	明治30年4月、南尋常小学校（現中央小）の分教場として開校し、昭和43年4月に北長沼小学校が統合新設されるまで70年の歴史を有した。	長沼町90年史 長沼町農民史 長沼町第7区郷土史 長沼町第8区郷土史
16	妹背牛渡船場跡	西５線北１２番地	幌向（南幌町）との境界（旧夕張川）に設置された3ヶ所の渡船場の1つで、幌向村長が管理していた。	長沼町90年史 長沼町農民史 史跡標(平成10年度)
17	實吉賀之丞彰功碑	西４線北１３番地	大正8年、この地区の開拓を行った實吉賀之丞の献身的努力を讃え建立。	長沼町90年史 長沼町第7区郷土史 空知文化財ｼﾘｰｽﾞ第8集
18	香川只藏記念碑	東３線北１２番地	明治38年、5区八幡神社の敷地寄付者の碑。	長沼町農民史 ※撤去
19	柳神社記念保護樹木（北海道指定）	西１線北１１番地	・大正3年、入植当時群生していた柳をご神木とし、開拓の守護神として建立。 ・北海道記念保護樹。	長沼町農民史 長沼町第7区郷土史 ※倒木

No.	史蹟名	住所	内容	参考文献等
20	文学碑「馬追原野」	東７線北１０番地	文学碑は、昭和19年に第1回樋口一葉賞を受賞した辻村もと子の長編小説「馬追原野」の舞台となった場所にあり、全町民からの寄付金で、詩人更科源蔵と北海道文学館局長が発起人となり、マオイ文学台と命名された場所に建てられました。	長沼町の歴史 長沼町90年史 馬追原野建立趣意書
21	長官山	東７線北１０番地	・明治24年、北海道長官の渡辺千秋が全道巡視の途中でこの山に登ったことから名がついた。 ・標高254m。展望台からは、北西に石狩平野を一望し日本海を臨み、南には樽前山・恵庭岳の裾に苫小牧・太平洋、東には夕張連山を臨む。	長沼町の歴史 長沼町90年史 長沼町農民史 史跡標(平成5年度)
22	旧第二小学校「星霜」碑	東２線北１０番地	明治32年、南尋常小学校（現中央小）の第4分教場として開校し、昭和43年に北長沼小学校が統合新設されるまで70年間の歴史を有した。	長沼町90年史 長沼町第6区史 長沼町農民史
	吉田直次郎記念碑	同上	昭和30年10月、旧第二小学校の校地敷地寄贈者である吉田直次郎の篤志を讃え、記念碑を建立。	長沼町農民史 長沼町第6区史
23	耕心碑	東３線北９番地	昭和51年、開墾80年を迎え、開拓者への崇敬と継承する意思の宣言として建立。	長沼町農民史 長沼町第6区史
	獣魂碑	同上	・昭和41年建立。 ・平成20年現在、御祓いの上撤去。	同上 ※撤去
24	天皇陛下（昭和天皇）御在位六十二年奉祝	西２線北８番地	昭和62年5月建立。	(なし)
	長沼町開基百年記念碑	同上	同上	同上
	長沼町開基九十周年記念花壇	同上	昭和52年、長沼町開基90年を記念して花壇を設置。	同上

No.	史蹟名	住所	内容	参考文献等
25	子育地蔵	東６線北７番地	昭和8年、子どもの病気回復祈願や無病息災、子授けなど我が子の健やかな成長を願って建立された子育地蔵は、市街地から伏古墓地内に移転	長沼町農民史
	別地蔵	同上	東町の涙橋(71)付近にあったものを伏古墓地に移転保存。	絵物語ながぬまの橋
26	長沼村戸長役場跡	東２線北７番地	明治28年5月、落合作蔵氏の民屋を役場庁舎として開庁した。	史跡標(平成3年度)
27	渡船場小林渡し跡	西６線北７番地	・大正2年、長沼と南幌を結ぶため坂下弥次郎が旧夕張川に私設経営した渡船場。 ・大正4年から夕張川切替までは、南幌の小林定吉が経営したためこの名で呼ばれ、昭和63年に現在の鋼鉄橋が架設され「小林橋」と名付けられた。	長沼町第9区百年史 史跡標(平成7年度)
28	１０区「開拓百年碑」	東２線北６番地	・昭和62年、開村父祖への崇敬の念を記し建立。 ・当時の入植者である天野逸雲は、入植と同時に本派本願寺の説教所を東１線北７番地に開いた。	長沼町農民史
29	渡船場藤田渡し跡	西６線北４番地	・町内8渡船場の1つで、船頭の名からこの名がついた。 ・福山農場の開墾地にあったことから「福山渡し」とも呼ばれた。 ・北3号と北4号の間の道路は「渡船場通り」と呼ばれた。	長沼町第9区百年史 長沼町第15区部落史 史跡標(平成6年度)
30	松宮藤太郎氏寄付商店土蔵	東６線北４番地	昭和47年、文化遺産として寄贈された物をｺﾐｭﾆﾃｨ公園に移設復元し、郷土資料館1号館として活用。	長沼町農民史 現地説明看板

No.	史蹟名	住所	内容	参考文献等
	村上栄一氏寄付農家土蔵	同上	昭和47年、本町最古の蔵として寄贈された物をｺﾐｭﾆﾃｨ公園に移設復元し、郷土資料館2号館として活用。	同上
31	冨志戸青年団創立３０年記念碑	東７線北４番地	12区（冨志戸）会館に建立。	長沼町農民史
	明治神宮御用材伐採記念碑	同上	大正10年、道庁の命を受けて国有林で明治神宮造営のための御用材を造材したことを記念して記念碑を建立。	長沼町農民史 明治神宮造営に奉仕した若者の記録1・2
	皇太子殿下（昭和天皇）御成婚記念碑	同上	大正11年、島津忠義公爵の孫娘である久邇宮良子（ｸﾆﾉﾐﾔﾅｶﾞｺ）女王とご結婚されたことを記念して建立。	(なし)
32	９区「開基百年記念」碑	西３線北４番地	平成7年、長沼町開基100年に合わせて建立。	長沼町農民史 長沼町第9区百年史
33	旧舞鶴橋	東６線北４番地	・昭和11年、道内初のﾗﾝｶﾞｰ桁として着工し、わずか半年で完成。橋長66.54m、幅員6m。 ・当時付近一帯が陸軍特別大演習の区域に入ったため、陸軍の輸送用として架設。 ・新しくする際にｺﾐｭﾆﾃｨ公園に移設復元された。	長沼町の歴史 長沼町90年史
34	若干鳥事西田正司引退記念碑	西３線北３番地	素人角力（力士）若干鳥事西田正司の引退を記念し、郷土の生活文化に貢献したとして建立。	長沼町農民史 長沼町第15区史
	北西支部員退会記念碑	同上	昭和15年、当時北星支部として活動してきた旧9区から行政区整備統合で15区と29区分裂の際に、退会記念として建立。	同上

No.	史蹟名	住所	内容	参考文献等
35	野呂栄太郎碑	東１線北２番地	昭和49年、日本共産党が建設。	長沼町農民史 長沼町第15区史
36	旧第五小学校「創造」碑	東１０線北１番地	明治40年、零号簡易教育所として開校し、昭和46年に中央小学校へ統合されるまで64年間の歴史を有した。	長沼町農民史 長沼町90年史
	土地寄付者記念碑	同上	この地を開拓した者らから名を取って「加賀団体（加賀国）」「山加団体（商標の「山加」）」と名付けられた。	長沼町農民史 長沼町90年史
37	基準橋	東１線北１番地	明治26年、長沼村植民地区画割の中心で、農村構図の原点と言われる。	長沼町90年史 史跡標(平成4年度)
38	相撲行司記念碑	東５線北１番地	大正10年、角力行司の玉村久平衛（行司名：木村環）の記念碑として建立。	長沼町農民史 長沼町の歴史(下巻)
39	開拓二十年記念碑	東１０線南１番地	明治34年に開拓が始まってから20年を記念し建立。	長沼町農民史
40	馬追運河之碑	西３線南１番地	・馬追運河は、明治初期の幹線排水の一つ。 ・農業排水のみならず、舟運にも利用され、移民の定着と市街地形成に大きく貢献した。	長沼町の歴史 長沼町90年史 郷土絵本②「馬追運河」その歴史と役割
41	山田金一郎治水顕彰碑	西６線南３番地	水害常襲地帯を救うために内水排除施設などの早期完成を目指して１８年以上に渡り推進活動を続けた偉業を後世に伝えるため、昭和51年に建立。	長沼町農民史 長沼町第30区史「さぎぬま」

No.	史蹟名	住所	内容	参考文献等
42	旧第三小学校碑	東５線南４番地	明治31年、長沼南尋常小学校の第二分教場として開校し、明治37年3月に長沼村第三尋常小学校として独立、昭和50年に中央小学校へ統合されるまで76年間の歴史を有した。	長沼町90年史 南長沼百年史 閉校記念誌
	酒巻文吉記念碑	同上	酒巻文吉は、長沼村第三尋常小学校が明治40年に高等科を併設し、校舎をこの地に移転した際に校地を寄付した人物。	長沼町90年史 南長沼百年史 閉校記念誌 ※倒壊
43	小川有一記念碑	東４線南４番地	第20区会館の敷地寄付者。会館は昭和23年に建築。	長沼町農民史
44	故加藤岩吉碑	東１１線南４番地	八幡神社（勇立）の敷地寄贈者。神社は東9線南3番地にあったが、大正7年に小里内八幡神社と合祀、勇立八幡神社として東11線南4番地に移転。昭和32年に秋葉神社と合祀、真生（マオイ）神社として17区会館前に移転。	長沼町90年史 長沼町農民史
45	古瀬新一碑	東９線南５番地	開拓時代から集会場や会館は存在していたが、昭和26年に現在の17区会館敷地を寄付され、会館建築と併せて記念碑を建立。	長沼町農民史
46	皇孫（徳仁親王殿下）御降誕記念狛犬	東１０線南５番地	真生神社境内に森林愛護組合が奉納。	長沼町農民史
47	入植拾周年記念碑	西３線南６番地	終戦後、樺太からの引揚者を中心とする入植者が、背丈を超えるヨシ原の低湿地に、冷害や水害に見舞われながらも着実に営農を進め、西南部の開発の原動力となった。昭和33年に碑を建立。	長沼町農民史 長沼町第27区史

No.	史蹟名	住所	内容	参考文献等
48	摂政宮殿下行啓記念碑	東４線南６番地	大正11年、摂政宮殿下（昭和天皇）の行幸啓を記念して、南長沼神社境内に記念碑を建立。	(なし)
	佐々木梅松記念碑	同上	昭和7年、南長沼神社要地として480坪の寄付をされたことを記念して昭和11年に記念碑を建立。	南長沼百年史
49	松浦武四郎紀行足跡之碑	東１０線南７番地	・武四郎は、北海道国郡の区画、道名、国郡名を選定した「北海道の名付け親」。 ・1857年、札幌夕張道の調査の際、馬追山を越えて帰途に一泊した。	長沼町の歴史 長沼町90年史 ながぬま郷土絵本2号「夕張日誌」
	旧第四小学校「温故知新」碑	同上	明治34年、幌内簡易教育所として開校し、昭和51年に閉校するまで75年間の歴史を有した。	長沼町90年史 長沼町農民史 幌内(18区)記念誌
	配田内秋葉神社史蹟碑	同上	秋葉神社は、昭和32年に勇立八幡神社と合祀、17区会館前に真生神社として移設。	長沼町農民史 幌内開拓百年史 長沼町17区史
	空知稲作発祥の地	同上	明治22年、青森県出身の仲野軍介が、ﾊｲﾀｳｼｭﾅｲ川から水を引き、水田3反歩を耕作し、赤毛品種籾2俵を収穫。	長沼町90年史 史跡標(平成3年度)
	河端清太碑	同上	昭和9年、旧第四小学校敷地600坪を寄付された篤志を讃え記念碑を建立。	幌内百年史 南長沼百年史
50	河端清太翁顕彰碑	東５線南７番地	・昭和45年、第四小学校出身の河端氏より中学校グラウンド敷地として17,057㎡の寄贈を受け顕彰碑を建立。 ・寄付した氏の名前から「河端グラウンド」と呼ばれた。	長沼町90年史 南長沼百年史 ※台座のみ

No.	史蹟名	住所	内容	参考文献等
51	冨澤重郎顕彰碑	東５線南７番地	昭和33年、南長沼中学校敷地として栗山町の冨澤重郎氏より7,500坪が寄贈された。	長沼町90年史 南長沼百年史
52	旧西南小学校「西南」碑	西１線南７番地	昭和26年、戦後開拓者の増加により開校し、昭和49年に南長沼小学校として統合するまで25年間の歴史を有した。	長沼町90年史 長沼町農民史 長沼町第27区史 ※破損（銘板落下）
53	マオイ酪農会館	東１２線南９番地	・本町の酪農起源は、短角牛が大正9年に道庁から払い下げを受けたのが始まり。 ・昭和43年、札幌市の都市化により町内外の酪農家が集い、馬追山酪農組合を結成した。 ・この建物は、馬追山酪農組合の結成10周年を記念して、昭和53年に完成。	幌内百年史 ※撤去
54	メンヒル（立石）	東１２線南９番地	・舟つなぎ石や縄文時代後期の墳墓など、様々ないわれがある。 ・この石は、支笏湖付近で産出される安山岩で、馬追丘陵では産出しない石。	長沼町90年史 史跡標(平成5年度)
	開拓弐拾五年記念碑	同上	開拓入植25年を記念し、入植者全員参加のもと、大正8年に記念式典と記念碑の除幕式を挙行。	幌内百年史 長沼町農民史
	開拓六十週年記念碑	同上	昭和29年、開基60周年に当たり、当時の住民の氏名が記入された記念碑を建立。	同上
	開拓七十年記念石	同上	昭和39年、開基70周年に当たり、記念事業として記念碑を建立。	同上
	幌内開基八十周年記念碑	東１２線南９番地	昭和49年、開基80周年を記念して、記念碑を建立。	幌内百年史

No.	史蹟名	住所	内容	参考文献等
	幌内開基九十周年記念碑	同上	昭和59年、幌内開基90周年記念祭が挙行され、記念碑を建立。	同上
	風雪百年碑	同上	平成6年、幌内開基100周年を記念し、幌内神社境内に記念碑を建立。	同上
	忠魂碑	東１２線南９番地	・大正8年、18区民有志と在郷軍人により建立。 ・日露戦争、満州・支那事変、第二次世界大戦において国のため戦死・戦病死された御霊を合祀し毎年春に招魂祭を行っている。	幌内百年史
	特別大演習行幸記念碑	同上	昭和11年の陸軍特別大演習に際し、摂政宮殿下（昭和天皇）の行幸啓を記念して、昭和12年に建立。	長沼町農民史
	創立四拾週年記念碑	同上	昭和12年、青年会40周年を記念して建立。	同上
	幌内神社鎮座百年之碑	同上	平成8年、幌内神社「御鎮座百年」の臨時大祭を奉斎し、その記念事業として建立。	幌内開基百十年史
	鳥井塚	同上	・昭和24年、当時の木製の鳥居の腐食が進み、当時の営林署より用材の払い下げを受けたが、永久性のある敷石の鳥居を完成させた。 ・ここは、木製の古い鳥居を葬った場所。	同上
55	金子乙藏・服部清太郎顕彰碑	東２線南１０番地	昭和44年、22区の報徳会加入に功労のあった金子乙藏と、戦後の緊急開拓者として入植し成功した服部清太郎翁を記念して建立。 令和4年河川改修により移設再建立	長沼町農民史 長沼町第22区史

No.	史蹟名	住所	内容	参考文献等
56	入植記念碑	東７線南１０番地	・昭和42年に建立。 ・昭和49年、開拓入植25年を記念して、入植者全員による記念式典及び記念碑の除幕式を挙行。	幌内百年史 長沼町農民史
57	ハマナス砂丘	東１０線南１０番地	・かつての石狩海峡の海退により残留した砂丘。 ・松浦武四郎上陸の地。 ・「マオイ」は、「ハマナスの実が多くある場所」と訳される。	長沼町90年史 史跡標(平成3年度)
58	壽原英太郎記念碑	東５線南１１番地	・大正14年、舞鶴小学校の校地を寄贈した島七農場(3反)、菅原英太郎(４反５歩)の記念碑を建立。 ・菅原英太郎氏は、明治42年に加越能共同開耕株式会社より売却された土地の名義人となり、小作農の営農と生活、地域や舞鶴小学校の建設に尽くした。	長沼町農民史
59	旧鹿児島藩主・島津農場跡	東８線南１４番地	・明治31年、旧鹿児島藩主の島津斉彬の子孫である島津忠重は、長都三湖の中心に小作人約40戸を入れ、草原湿地を開いて305haの田畑を成墾。舞鶴神社や学校を建てて中心集落を築いた。 ・大正5年、村岡吉外が譲り受け、後の宮北農場として農民に開放。	長沼町の歴史(下巻) 長沼町90年史 「耕心無限」 史跡標(平成5年度)
60	国境橋	東１２線南１５番地	・近世東蝦夷と西蝦夷の境界線で、明治以降は千歳郡（石狩支庁）と夕張郡（空知支庁）の境界。 ・橋は大正8年以降、千歳と長沼村が折半で負担し維持。 ・境界を挟んで、長都沼、馬追沼、島津農場付近にはﾎﾟﾝユーバﾘ沼などが点在していた。	長沼町90年史 長沼町農民史 史跡標(平成3年度)

No.	史蹟名	住所	内容	参考文献等
61	学生義勇軍流汗の跡	東６線南１５番地	・「長都沼切替排水」として開削に汗を流した学生義勇軍や、これに応援した地元民は、この排水を「大学排水」と愛称し、橋も「大学橋」と名付けた。 ・平成2年、付近に大学橋記念公園を造成して、応援した学生の名を刻んだ碑を建立した。	長沼町90年史 第31区史 「天涯萬里」 「大学排水と長都沼」
62	故保原元二之碑	宮下２丁目１１番３号	・昭和53年、夕張川切替工事を担当した第6代石狩川治水事務所長の保原元二の功績を讃えて建立。	長沼町90年史,ふるさと絵本① 長沼町農民史
	三輪不撓句碑	同上	・俳句の正風を修得し、昭和4年の夏に同行者で「唖蝉」吟社を、昭和8年には三輪不撓を主幹とする「木賊」吟社を結成した。 ・昭和32年に建立されたこの碑には「初霜の　朝の空知野　さわやかに」と書かれている。 ・三輪不撓は薬学も修めており、昭和5年から市街地で薬局を始めた。	長沼町農民史,空知の文学
	水霊之碑	同上	・昭和29年、木製の碑を建立。 ・昭和52年、石碑に改碑した。	長沼町90年史 長沼町農民史
	鎮魂碑	同上	昭和52年、長沼町出身の戦没者を祀るため、鎮魂の碑を建立。	長沼町90年史 長沼町農民史,平和への礎
	忠魂碑	同上	・昭和15年、中央小学校校庭より移設され、新碑を建立。 ・350柱余りが合祀されている。	長沼町農民史 平和への礎

No.	史蹟名	住所	内容	参考文献等
63	力士像	宮下２丁目１１番３号	・開拓当時、農村の娯楽として欠かせなかった素人相撲に功労のあった松村久吉を讃え、「松勇の碑」として昭和33年に長沼神社旧相撲場に建立。 ・最初に建立した新納留次郎の没後に、新納のしこ名「桜川」と沼田与左右衛門のしこ名「二本松」が加えられた。	長沼町農民史 長沼町90年史 議会だより17号
64	長沼村土功組合記念碑	宮下１丁目６番	・明治40年、北海道土功組合法公布に伴い、長沼村土功組合を設立。昭和26年、土地改良法の制定により認可され、名称を長沼土地改良区とした。 ・この碑は、大正14年、大正11年からの水害復旧と改良工事を終えたことを記念して建立。	「豊水の歩み」創立100年記念史 空知文化財ｼﾘｰｽﾞ第8集
	みのりの像	同上	・大夕張ﾀﾞﾑの築造により、常習化した洪水や渇水の危機は抜本的に解決され、昭和34年から頭首工や揚水機、幹支派線用水路の新設改修工事を行い、4,000町歩余りの水源を確保した。 ・この碑は、その事業の遂行に当たり、関係各位の献身的努力と事業に携わった諸氏の偉業を記して建立。	「豊水の歩み」創立100年記念史
	豊水碑	同上	昭和61年、長沼土地改良区80年を迎えるに当たり、沿革や事業概要を記し、幾多の先人の業績を讃えて建立。	「豊水の歩み」創立100年記念史
65	長沼町民憲章碑	中央北１丁目１番１号	昭和52年、長沼町開基90周年記念式典が挙行され、「長沼町民憲章」を制定し、憲章碑を役場庁舎西側に建立。	ながぬま100年のあゆみ

No.	史蹟名	住所	内容	参考文献等
66	野呂栄太郎学童の像	中央北１丁目１番１号	昭和49年、野呂栄太郎が学んだ中央小学校の当時の校庭に建立。	長沼町90年史 長沼町農民史 慟哭の地平 中小開校110周年記念誌
67	希望に燃えて	銀座北１丁目３番１号	昭和51年、中小開校80周年記念に建立。	(なし)
	中小開校100周年記念「飛翔」碑	同上	平成8年、中小開校100周年を記念して建立。	記念誌
68	毛利新藏記念碑	銀座北１丁目３番１号	・明治38年、学校敷地として1町歩を寄付されたことを記念して建立。 ・寄付された土地は大正14年に中央小学校の校庭となった。	長沼町90年史 長沼町農民史
69 →64	墾田頌	中央北１丁目１番１号→宮下１丁目６番	・昭和47年、南長沼土地改良区開基50周年を記念して、合同庁舎横に建立。 ・平成25年に土地改良区記念公園に移設された。	長沼町農民史 組合記念誌 空知文化財ｼﾘｰｽﾞ第8集
70	吉川鐵之助氏像	中央北１丁目１番１号	・第1鍬者であり、初代戸長を務めた吉川鉄之助翁の像。 ・昭和11年に建設されたが、戦時中の金属召集で供出、昭和27年に石碑を建立し、昭和41年に胸像が復元された。	長沼町の歴史 長沼町90年史 空知文化財ｼﾘｰｽﾞ第8集
71	涙橋跡	銀座南１丁目	・JAながぬま本所付近にあった橋で、葬式や出稼ぎ、出兵など人の別れを惜しんで名づけられた。 ・近くにあった別れ地蔵は、現在は伏古墓地にある。	絵物語ながぬまの橋

No.	史蹟名	住所	内容	参考文献等
72	馬追運河船着場跡	錦町	・馬追運河は、中心街の排水と長沼江別間の運送を目的として、明治29年に完成した。 ・ここにあった船着場は、大正6年頃まで利用されていた。 ・掘削工事は泥湿地のため非常に困難を極め、あまりの辛さに逃げ出す土工夫も多かった。 ・工事請負人は見張り番を建てて逃亡を防止し、土工夫の身柄を拘束した。これがいわゆる「ﾀｺ部屋」「監獄部屋」の始まりとされている。	長沼町の歴史 長沼町90年史 馬追運河関連資料 史跡標(平成8年度)
73	「姉妹」モニュメント	中央南２丁目３番２号	・昭和62年、岩手県水沢市から開基100年を記念して寄贈された。 ・このﾓﾆｭﾒﾝﾄと同じ物が、東北新幹線水沢江刺駅前にも設置されている。 ・前庭には、開基百年記念事業としてﾀｲﾑｶﾌﾟｾﾙが埋設され、50年後の2037年(令和19年)に開けられる予定。 ・令和6年中央公園内に移設	ながぬま110年のあゆみ
74	髙木記念館	旭町南２丁目１１番１号	・大正12年に建築された旧役場庁舎の2階、議会議事堂だった部分を、昭和38年に長沼高校の校庭に移築された。 ・館名の由来は、長沼村三代目村長だった髙木悌次郎で、町全体の水田化を構想し、自らかんがい事業を完成させるなどした。	長沼町の歴史 長沼町90年史 長沼町旭町30周年誌 郷土絵本③ 史跡標(平成6年度)
75	農民碑	錦町南２丁目５番	昭和35年、馬追運河の基線運河橋のほとりに建立。	長沼町の歴史 長沼町農民史

No.	史蹟名	住所	内容	参考文献等
Ex.1 76	天測点第１号	静台	・昭和29年、天文測量で使われる天測点の第1号として設置。 ・子午儀という観測器を置くための観測台で、台の上面には十字が刻まれた直径4cmの丸銅板が埋められている。 ・測量方法や測量機器の改良などにより、現在は使用されていない。	長沼町の歴史(上) 長沼町90年史 長沼町第6区史
Ex.2 77	鷺沼	西７線南６号付近	・昭和11年の夕張川切替でできた、長さ500m、最大幅70m、最深で1mの三日月型の沼。 ・周辺にはヨシが密生し、ヤチダモなどの大木も生い茂り、沼にはコブナやドジョウなどが多く生息し、サギの営巣に最適な場所だったので、数千羽ものサギが飛来したことからこの名がついた。 ・戦後の開拓が進み湿地帯が少なくなり、人家も増えたため消滅。	長沼町第30区史 西小開校60年誌 史跡標(平成16年度)
Ex.3 78	東庭園	東６線北３番地	・明治29年に富山県から開拓移民として入植した東重次郎氏が、長い年月をかけて丹精込めて作り上げた庭園。 ・農林水産省の農家屋敷林コンクールでの入選経験もある。 ・11,800㎡の敷地を誇り、400種を超える四季折々の草花樹木を見られる。 ・昭和50年に町に寄贈され、人々の憩いの場になっている。	（なし）